

# 「道の駅」の駐車場に関する 調査結果

# 駐車場の駐車ます数の算定方法

## 【道の駅登録・案内要綱(H5年~)】(道路局長通知)

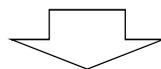
### <施設構成>

- 休憩目的の利用者が無料で利用できる十分な容量の駐車場と清潔な便所を備えるとともに、それらの施設及び施設間を結ぶ主要な歩行経路のバリアフリー化が図られていること

## 【道の駅登録・案内要綱の当面の運用方針(H5年~)】(評価室長通知)

### <施設構成>

1. 十分な容量の駐車場とは、交通量・立地条件・施設内容等に応じて利用需要に対応できると認められるもので、駐車台数概ね20台(大型車用は2台分に換算)以上のものとする



## 【直轄事業における「道の駅」(一体型)の整備及び維持管理について(H24年~)】

(国道・防災課課長補佐通知)

「道の駅」の休憩施設等の規模について、原則、日本道路公団設計要領を準用し、本線交通量及び地域特性を考慮の上、道路管理者が整備すべき範囲について適切に計画を行うこと。

(参考) 日本道路公団設計要領の算定式

$$\text{駐車場の駐車ます数} = \text{前面交通量} \times \text{立寄率} \times \text{ラッシュ率} \div \text{回転率}$$

前面交通量 = 交通量(将来推計交通量やセンサス交通量)

立寄率 = 立寄台数(台/日) ÷ 前面交通量(台/日)

ラッシュ率 = ラッシュ時立寄台数(台/時) ÷ 立寄台数(台/日)

回転率 = 60分 ÷ 平均駐車時間(分)

施設の種類	車種	立寄率	ラッシュ率	平均駐車時間
サービスエリア	小型車	0.175	0.10	25
	大型貨物車	0.125	0.075	30
パーキングエリア	小型車	0.10	0.10	15
	大型貨物車	0.125	0.10	20

# 駐車場の不足状況

## ■道の駅に入る車両により、入り口で渋滞が発生している道の駅



## ■小型車マスが不足している道の駅



## ■大型車マスが不足している道の駅



# 「道の駅」駐車場利用状況調査 概要

## (1) 調査概要

○「道の駅」246駅を対象に実態調査(H28~30)を実施

・道路交通量調査(道の駅前面の交通量をカウント)	⇒前面道路交通量 を把握
・立寄調査(道の駅へ立ち入る車両をカウント)	⇒立寄率・ラッシュ率 を把握
・車籍調査(ナンバープレート調査)	⇒駐車時間 を把握

## (2) 分類の考え方

○「道の駅」が有する集客施設等の有無や物販施設での売り上げ・規模等により以下の6つに分類

タイプ	①休憩施設型	②直売充実型	③集客施設型	④住民サービス型	⑤物流型	⑥IC近接型
分類の考え方 (特徴)	最小限の施設を有する「休憩のための」道の駅	直売所等の売り上げや規模が大きい道の駅	「温泉施設」「体験施設」「キャンプ場」等、それ自体が目的地となる施設を有する道の駅	「会議室・集会所」「広場」「病院・診療所」「防災体験・展示室」「役所機能」等、地域の方々へのサービス施設を有する道の駅	大型車利用が多い道の駅 (大型混入率20%以上)	IC近傍(約2km)にある道の駅
調査サンプル数 (n=246駅)	74駅	20駅	57駅	25駅	35駅	35駅

# 駐車場利用実態調査結果

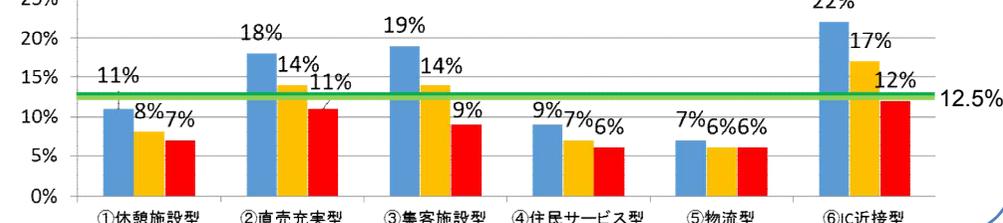
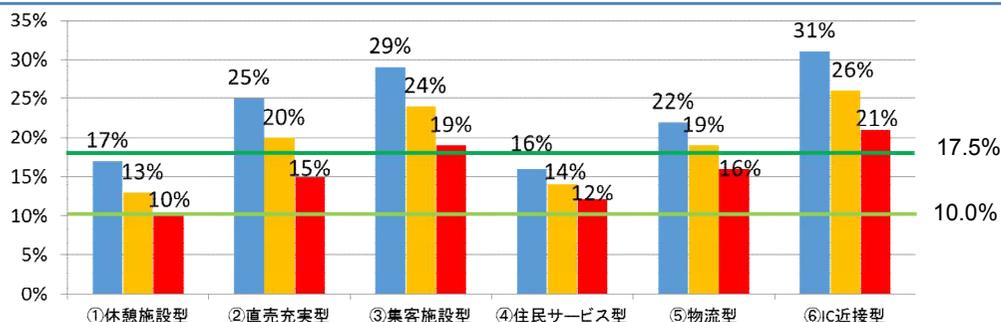
実態調査結果と日本道路公団設計要領の値を比較すると、以下のような違いがある。

- 「ラッシュ率」は、すべての施設タイプで、実態調査結果の方が高くなっている。
- 「平均駐車時間」は、ほぼすべての施設タイプで、実態調査結果の方が長くなっている。

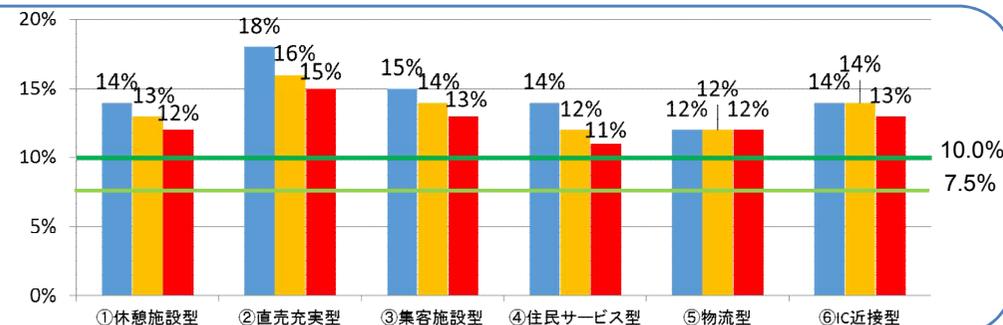
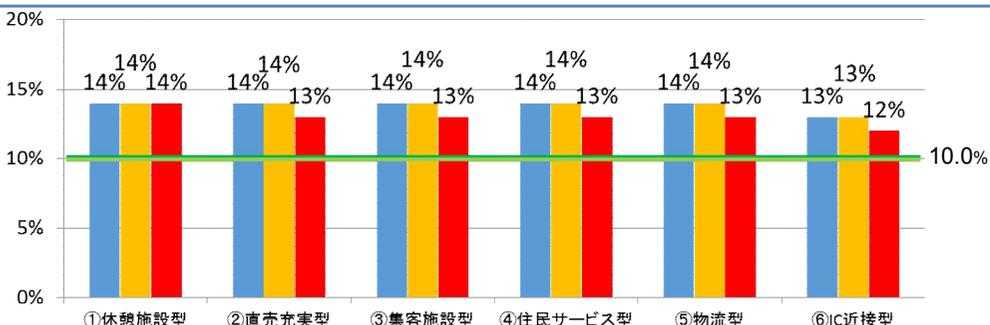
【小型車】

【大型車】

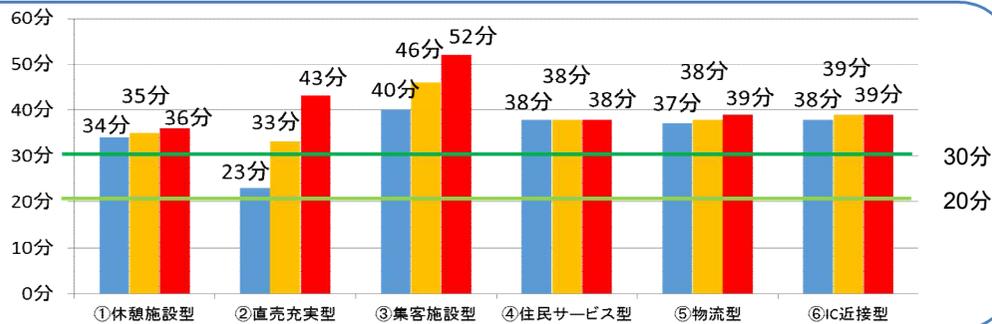
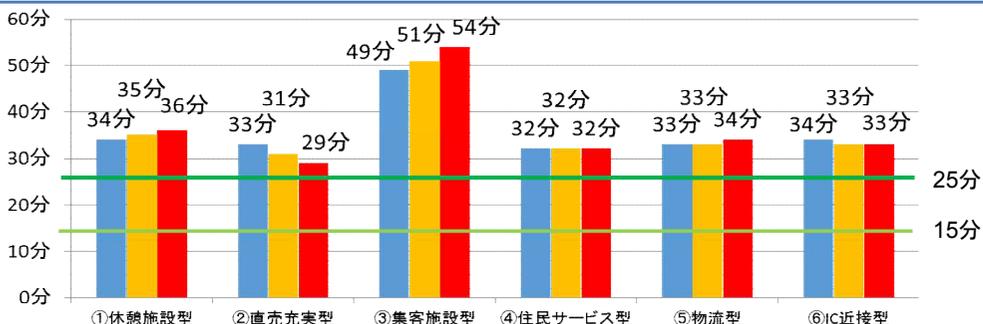
①立寄率



②ラッシュ率



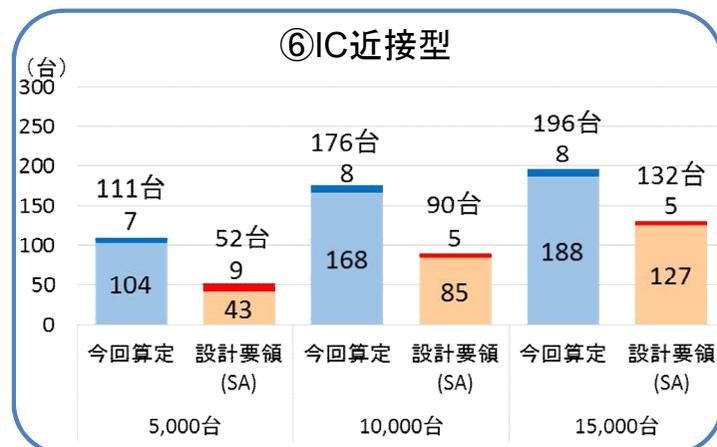
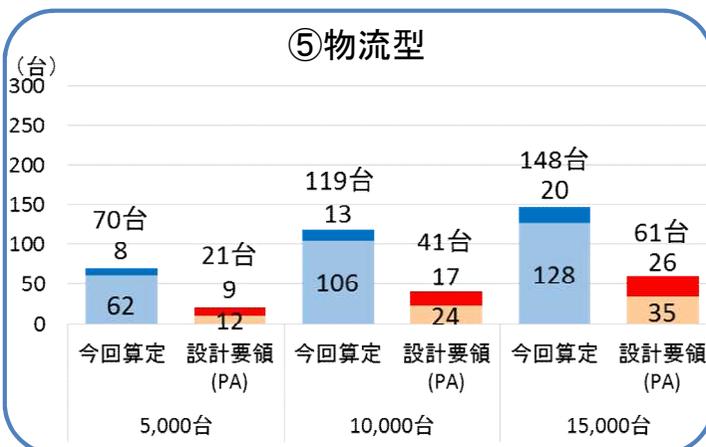
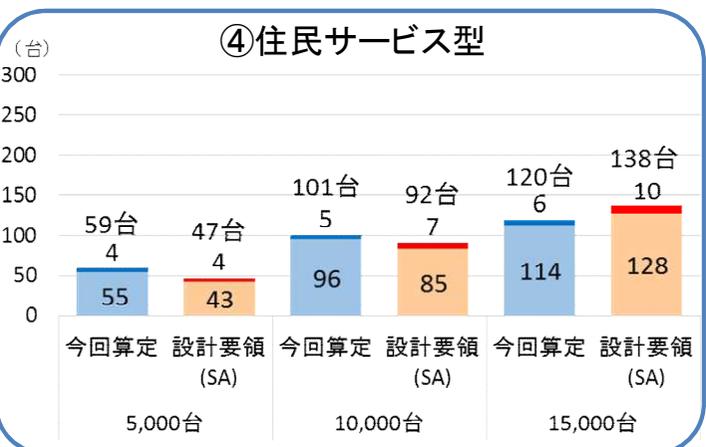
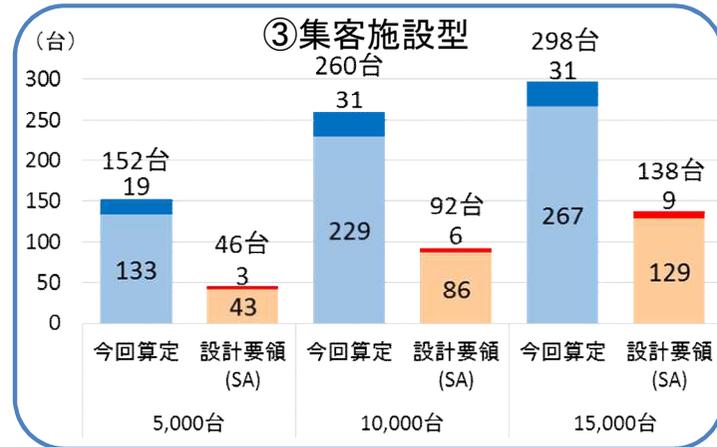
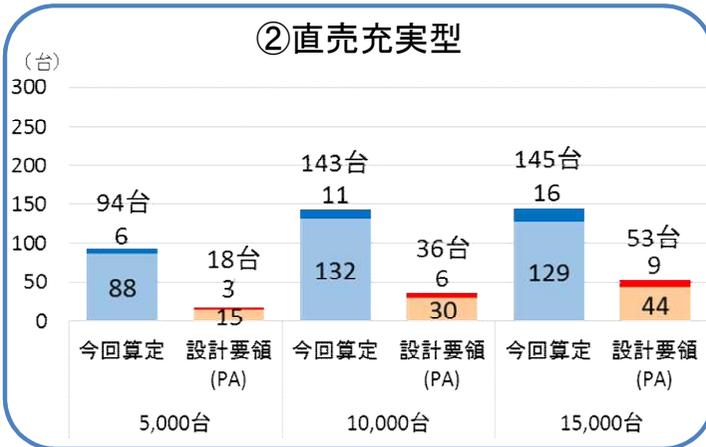
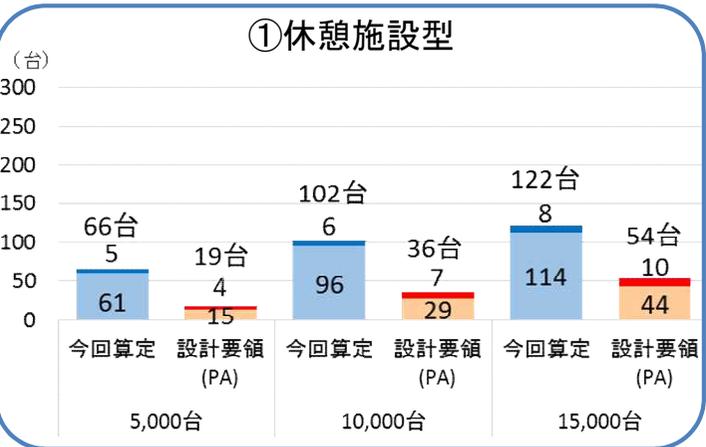
③平均駐車時間



【凡例】 前面交通量 (12h) : ■ 5,000台未満 ■ 5,000~10,000台 ■ 10,000台以上 設計要領 : — SA — PA

# ■調査結果による駐車まず数の算定(日本道路公団設計要領との比較)

- 実態調査結果(立寄率、ラッシュ率、平均駐車時間)から算定した駐車まず数(以下、「今回算定」という。)と日本道路公団設計要領を用いて算定した駐車まず数を比較。
- 「住民サービス型」以外では、今回算定が日本道路公団設計要領を用いて算定した駐車まず数を大きく上回る結果となった。



【凡例】 ■ : 小型車 ■ : 大型車

# 參考資料

# 道の駅のタイプ分類

タイプ	①休憩施設型	②直売充実型	③集客施設型
分類の考え方 (特徴)	最小限の施設を有する「休憩のための」道の駅	直売所等の売り上げや規模が大きい道の駅	「温泉施設」「体験施設」「キャンプ場」等、それ自体が目的地となる施設を有する道の駅
具体的な施設イメージ	<div data-bbox="508 703 902 1002" data-label="Image"> <p>こさか七滝 (秋田県)</p> </div> <div data-bbox="508 1031 902 1329" data-label="Image"> <p>千枚田ポケットパーク (富山県)</p> </div>	<div data-bbox="1093 703 1509 1018" data-label="Image"> <p>アルプス安曇野 (長野県)</p> </div> <div data-bbox="1093 1018 1509 1329" data-label="Image"> <p>直売所等が充実(規模・売上げ)</p> </div>	<div data-bbox="1653 703 2107 1018" data-label="Image"> <p>伊東マリンタウン (静岡県)</p> </div> <div data-bbox="1653 1018 2107 1329" data-label="Image"> <p>温泉施設や遊覧船といった集客施設を有する</p> <p>温泉施設 →</p> <p>遊覧船受付 →</p> </div>
調査サンプル数 (n=246駅)	74駅	20駅	57駅

# 道の駅のタイプ分類

タイプ	④住民サービス型	⑤物流型	⑥IC近接型
分類の考え型 (特徴)	「会議室・集会所」「広場」 「病院・診療所」「防災体験・ 展示室」「役所機能」等、地 域の方々へのサービス施設 を有する道の駅	大型車利用が多い道の駅 (大型混入率20%以上)	IC近傍(約2km)にある 道の駅
具体的な 施設イメージ	 <p>あいづ(福島県)</p>  <p>地域の人が集える会議室を設置している</p>	 <p>豊栄(新潟県)</p>  <p>万葉の里高岡(富山県)</p>	 <p>舞ロードIC千代田(広島県)</p>  <p>ICから100mに立地</p>
調査サンプル数 (n=246駅)	25駅	35駅	35駅